

## 教師用指導案「東京 1964 大会のレガシー」

- 対象： 小学校低学年
- 本時のねらい： 東京 1964 大会が日本に残したものについて理解する。
- 準備物： [東京 2020 組織委員会ウェブサイト](#)、  
オリンピック・パラリンピック学習読本小学校編
- 適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、学級活動、生活科等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5分)	1) 本時の見通しを持つ 【発問】新幹線はいつから走り始めたのでしょうか？	新幹線は東京 1964 大会に間に合わせるように作られたことを理解させる。	
展開 (10分)	2) 新幹線は 1964 年 10 月 1 日に東京駅から新大阪駅まで運転が始まりました。 【説明】アジアで初めての開催となるオリンピック・パラリンピック競技大会で、それまでに開業することを目指していたことを理解させる。	第二次世界大戦中の空襲で、東京は焼け野原になったが、その後十数年で復興し、高い技術力で国が発展していった。	<a href="#">オリンピック・パラリンピック学習読本 小学校編 p.44-47</a>
(10分)	3) 新幹線以外に、東京 1964 大会を目指して作られたものはほかにもあることを学ぶ。 ・東京モノレール ・首都高速道路 ・旧国立霞ヶ丘陸上競技場 ・駒沢オリンピック公園総合運動場 ・日本武道館	こうしたことが、その後の日本の社会の発展に寄与したことを理解させる。	
(10分)	4) どの競技で日本選手は活躍しただろう。 日本選手の活躍はどのように人々が感じたか隣の人と話し合おう。	レスリング、柔道、バレーボールなどで日本の選手が活躍したことを学ぶ。	
まとめ (10分)	東京 1964 大会は日本の社会を元気にしたことを理解する。	東京 2020 大会も日本の社会を変えていくことを考えさせる。	